

呼吸器科研修プログラム

I. 研修について

呼吸器疾患は、肺癌、肺炎、COPD、喘息、間質性肺炎など幅広い領域にまたがっており、総合的判断力が必要とされる。また、呼吸器疾患は高齢者で発症頻度が高まるため、今後ますます呼吸器医療の必要性が高まっている。当科では、呼吸器疾患の診断・治療に必要な知識・技能の習得はもちろん、患者と向き合う全人的医療を目指した研修となるよう心掛けている。

II. 研修の到達目標

- 呼吸器領域の初期研修における基本的知識と技能を身につける。
 - ・胸部 X 線写真、CT の読影技術の理解と習得
 - ・抗菌薬、ステロイド薬、抗悪性腫瘍薬などの使用法の理解と習得
 - ・肺機能検査の理解
 - ・胸腔穿刺手技の習得
 - ・気管支鏡検査の理解と経験
- 全人的医療に関する理解を深める中での患者に対する適切な対応を習得する。
 - ・インフォームド・コンセントに関する理解と実践
 - ・ターミナル・ケアに関する理解と実践

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

3名

VI. 1 週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察
午後	気管支鏡検査 カンファレンス 勉強会	担当患者診察	担当患者診察	気管支鏡検査 勉強会	カンファレンス
その他					

VII. 評価方法

「研修評価方法」参照